

第 11 回全国「道の駅」シンポジウム in 宇佐 宇佐宣言

私たち、全国の「道の駅」関係者は、本日ここ「九州の宇佐」に相集い、第 11 回全国「道の駅」シンポジウムin宇佐を開催しました。

平成 5 年 4 月の第 1 回登録の 103 駅から始まった「道の駅」は、制度創設 30 周年を迎えた今年 8 月の第 59 回登録で新たに 5 駅が追加され、計 1,209 駅となりました。

こうした中、国土交通省では 2020 年から 2025 年までを「道の駅」第 3 ステージと位置付け、「道の駅」を地方創生と観光を加速する拠点とするために、各地の自由な発想と熱意の下、「道の駅」の世界ブランド化を目指したインバウンド観光の拠点化や、広域的な防災機能を担う「防災道の駅」の導入、あらゆる世代が「道の駅」を有効活用できる環境を提供する取り組み等を行っています。

本シンポジウムでは、道の駅「第 3 ステージ」の折り返しとなる今、各道の駅が多様性を生かし、持続可能な地域の発展、道の駅の安定運営を果たすべくどのような取り組みを行って行くべきかについて議論を深めました。

私たち、全国の「道の駅」関係者は、現状に満足することなく更なる飛躍を目指し、全国の道の駅が『地方創生・観光を加速する拠点』となり、地域社会と共に大きな発展を遂げることを、ここに宣言いたします。

令和 5 年 11 月 25 日

第 11 回全国「道の駅」シンポジウムin宇佐実行委員会

委員長 宇佐市長 是永 修治